

マテリアリティ

サステナビリティ推進

あすか製薬ホールディングスグループは「先端の創業を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する」という経営理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に向けESG経営に邁進しています。

当社グループでは、11のマテリアリティ(最重要課題)を特定していますが、なかでも「女性の健康への貢献」と「アニマルヘルスへの貢献」は当社ならではの特徴的なマテリアリティであり、グループを挙げて推進しています。また、太陽光発電の拡充やクリーンエネルギーの導入などによるCO₂排出量削減など気候変動への対策や、「新規事業や環境変化に対応できる人材育成・獲得」と「女性、キャリア

やシニアなど多様な人材が活躍できる環境づくり」による人的資本の強化にも取り組んでいきます。

2023年4月には、これまでの取り組みをさらに加速させるために、グループ経営企画部内にサステナビリティ推進課を新設しました。今後も、サステナビリティを経営の中心に据えて、企業の経済的価値の最大化と社会的価値の向上を両立させることで、ステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます。

あすか製薬ホールディングス株式会社
代表取締役専務取締役 サステナビリティ担当

丸尾 篤嗣

サステナビリティ基本方針

当社は、「CSR基本方針」を定め、グループ全体で継続的な成長と社会への貢献を追求します。

1 高品質な医薬品の提供

1. 経営理念に基づき、全社員が誠実な企業活動を行います。
2. 有効性、安全性に優れた高品質な医薬品を安定的に提供します。

2 コンプライアンスの推進

1. 企業倫理の徹底をはかり、法令を遵守します。
2. ステークホルダーの皆さまに対して、公正な関係を維持し、公正・透明・自由な競争と適正な取引を行います。
3. 個人情報の保護に関して、「個人情報保護方針」を遵守し、情報を適切に管理します。

また、ステークホルダーの皆さまの信頼に基づく健全な事業活動を通じて収益性を高め、良き企業市民として社会的責任を果たします。

3 人権の尊重

1. 企業活動によって影響を受ける全ての人々の人権を尊重します。
2. 社員の多様性を尊重し、安全で働きやすい企業風土の醸成に努めます。

4 地域・社会への貢献

1. 良き企業市民として、地域・社会とのコミュニケーションを積極的に図り、社会貢献に取り組みます。

5 環境保全

1. 環境保全活動に取り組み、環境経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

マテリアリティマップ

重要課題のマッピング



マテリアリティ特定の背景

当社グループは「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」を目指しており、社会課題の解決と持続可能な社会の構築に貢献していくため、2021年にESG委員会を設置し、17の重要課題をマテリアリティとして特定しました。2023年には、当社を取り巻く環境変化

に対応するため、マテリアリティの見直しを実施しました。「女性の健康への貢献」と「アニマルヘルスへの貢献」については当社ならではの特徴的なマテリアリティと認識しており、これらを中心に、グループ全体でマテリアリティに取り組むことで社会課題の解決と企業価値の向上に努めていきます。

マテリアリティに対する全社行動計画・KPI

ESG	マテリアリティ	全社行動計画	KPI
E	環境の保護と環境負荷の継続的低減	環境保護と環境負荷の継続的低減および環境マネジメント推進	① CO ₂ 排出量削減：2013年度比46%削減(2030年度) ② 廃棄物総量の削減 ③ リサイクル率の向上 ④ 環境対策の推進 ⑤ 環境に配慮した事業展開 ⑥ 天然資源使用量の削減 ⑦ 環境負荷物質排出低減(低たんぱく飼料普及による環境への窒素負荷軽減)
			① 社内公募および部門間異動の数(キャリアチャレンジ数) ② 選抜型研修受講数：次世代リーダー研修受講状況 選択型研修受講数：女性活躍推進研修(女性従業員のキャリア開発)/その他、従業員の自律的学び支援策としての選択型研修 従業員一人当たりの投資額(教育面) ③ 社内外の階層別研修/選択型研修の実施状況推進研修(女性従業員のキャリア開発)
S	人材育成	成長戦略を実現するための人材育成	① 労働時間の適正化：年休の計画取得推進、年休の取得促進指導、時間単位の年休付与 など ② 健康経営への取り組み ③ 多様な働き方の推進：在宅勤務、テレワーク、フレックスタイム、時短勤務 など ④ 定期的なストレスチェックとエンゲージメント調査の実施 ⑤ 女性の活躍推進(2024年度目標)：女性管理職比率(15%) / 女性MR比率(20%) ⑥ 多様な人材の活躍推進 ⑦ 次世代育成支援対策への取り組み：産前産後休暇(取得率100%) / 男性社員育児休業(取得率100%) ⑧ MRの産前産後休暇、育児休業取得の支援(復帰プログラム、懇親会の実施など)
			① 自社研究テーマの推進 ② アライアンス活動の強化
	革新的な製品の創出	オープンイノベーションによるパイプラインの拡充	① スペシャリティ領域(産婦人科、甲状腺)での充実した情報提供 ② 正しい知識の普及と疾患啓発 ③ 検査/受診推進活動による疾患の早期鑑別 ④ 非侵襲性測定キットによる疾患の早期発見
	医療アクセス拡大	自らの強みを活かした専門領域への貢献	① 女性のライフステージ別製品提供による女性医療への貢献 ② 女性医療への新たな取り組み ③ 女性活躍推進のための健康や疾患に関する啓発活動 ④ 若年層に対する性教育への取り組み ⑤ 家族やパートナーへの女性の健康問題に関する啓発活動
	女性の健康への貢献	女性の健康のトータルサポート	① アニマルウェルフェア(動物福祉)の推進 ② コンパニオアニマルの健康維持に有用な製品開発と提供 ③ 体毛を用いた非侵襲性測定キットの開発と提供 ④ 生物多様性の推進
	アニマルヘルスへの貢献	人と動物が共生できる社会づくりへの貢献	① 適切な臨床試験の実施(GCP遵守) ② GVP、RMPの確実な実施 ③ 販売情報提供活動ガイドラインの遵守 ④ 適正使用推進のための資材・知識の普及とMR等への製品教育の強化 ⑤ Webサイトを通じた最新情報の迅速な提供
	高品質な製品の安定供給	製品の品質と安定的調達および供給	① 健全な事業活動倫理を尊重する企業文化、風土の醸成 ② 株主の実質的平等性を確保 ③ 社会課題解決につながる社会貢献活動 ④ ステークホルダーとの建設的な対話 ⑤ 経営戦略、業績、財務状況、資本政策などの適切な開示、説明
	製品の適正使用推進	安全性の確保および適正使用情報の提供	① グループ・コンプライアンス推進委員会を中心としたコンプライアンス体制の推進 ② 重大なインシデント未然防止策の継続的な実施
G	コーポレート・ガバナンス	持続的成長のための企業体制構築	
	法令遵守とコンプライアンスの徹底	コンプライアンスの徹底と信頼性を重視する組織風土の醸成	